

令和4年度 第12回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会場 令和5年3月23日（月）午後7時00分～8時00分 昭和会館
出席者 谷部議長、松本副議長、石河委員、小池委員、小原委員、齋藤委員、
指田委員、二ノ宮リム委員、信國委員
欠席者 小原委員、吉川委員
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開会

<配布資料>

- 資料1 令和5年度生涯学習部における主要事業について
 - 資料2 (一社)全国社会教育委員連合第3回理事会・第3回総会次第
 - 資料3 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第2回理事会次第
 - 資料4 令和5年度東京都町村社会教育委員連絡協議会定期総会
当日タイムスケジュール
- ・昭島市月間行事予定表（4月）
 - ・とうきょうの地域教育 No.148
 - ・エール 5号

2 報告

(1) 令和5年度生涯学習部における主要事業について（資料1）

※事務局より資料の説明

(2) (一社)全国社会教育委員連合第3回理事会・第3回総会について（資料2）

※議長、事務局より、資料の説明

(3) 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第2回理事会について（資料3）

※議長、事務局より、資料の説明

(4) 青少年問題協議会について

委員 2月17日に青少年健全育成活動方針検討委員会があった。3月7日に行われたが、都合により出席できなかった。青少年問題協議会で青少年健全育成活動方針最終版が配られたと聞いている。

3 議題

(1) 令和5年度昭島市小学生国内交流事業運営委員の推薦について

- ・令和5年度の委員について、小池委員、石河委員を推薦することとする。

4 協 議

(1) 市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議ステップアップミーティングについて

議 長 みなさん方一言ずつお願いしたい。

委 員 「情報発信・情報提供」について様々な意見があった。一番手を付けやすいだろうというところは、各団体の活動チラシの情報の発信の仕方ではないか。生活コミュニティ課では、チラシの講座を開催し、持ち帰る人が多いチラシができていたことが分かった。それが参加者に結び付いているのかはわかりかねるが、手に取ってもらえるチラシ作りについての講座を今後も考えているようだ。そこに困りごとを抱えている団体や市民大学などお声をかけて自分たちの技術を上げることと、チラシを置く場所により、目に留まり方が違うことを研究したり、実際に置いて変えてみることもできるのではないかと話だった。SNSなどは、高齢者には非常に難しい。Twitterなど、市の情報発信について私たちが検討するのはもっと考えてからやらなければ難しいだろうという話になった。

委 員 高齢者が置いてきぼりになっているのではないかと感じた。いい技術を楽しんでいない。駅の券売機ですら、変わってしまうと使い方がわからず困る。マイナンバーカードなどお金が絡むものは一生懸命やっているが、そうでもなければ、諦めてしまう。あきしま会議については若い方が多い、仲間に入りたいのではないかと聞くが、そうなのだろうと思う。次回やるとしたら、主催者として数値目標をたててやってみたらどうか、その方がより活性化するのではないかと感じた。

委 員 「交流の拠点づくり」というテーマで話しあった。室内外に確保することも必要ではないか、もっとフリーな形で交流の場をつくりたい、また、いろいろなターゲットがあると思うが、どのように創っていくのか、その中で若い人たちがやりたいことを考えて、大人はそのサポートをする交流の場をめざしたいという話があった。

委 員 最初の参加者からのご意見で、皆さん冷静になれたのではないかと感じた。皆さんが言いたいことを言える場であることが確認できたと思ったし、皆さん意見を言いやすくなったのだと思う。高校生の話を中心に聞きながら話を進めたが、若い人たちのやりたいことを、活動している団体などに声をかけてうまく引き出して、コーディネーターのような方々がサポートしていけたらいいと思う。いい関係のグループだった。

委 員 最初のご意見はすごく良かった。「今ある施設や制度をよりよく」というテーマだったが、前のあきしま会議の際に提案したテーマだ。気軽に使えるような、または若い人たちが使いやすい、集いやすい施設であってほしいという話があった。すぐではなくても、今ある施設に対する要望を市民がまとめるなどできたらよいという話が出て、いろいろな部署がいろいろな施設を管理しているので、そういったところも交えて話し合うこともいいのではないかと感じた。居場所につながる話になるとよい。全体で話したときに、若者たちが施設を使うことによって、ちょうどいま若者の展示会をアキシマエンスの市民ギャラリーで行っているが、彼らなりの想いや違和感などもあるようなので、そうした視点も大事にしながら、大人たちがどうサポートできるかを考えていけたらよい。ルールも少しずつ声を出し合いながら変えていくこともできると

よいと思った。

委員 「交流の拠点づくり」で若い方がお祭りなどに参加したいという話をしていた。市民運動会や地域のお祭りにも関係する話だと思った。若い方を取り込んでいかなければ、どんどん高齢化しているので、やりたいという若い人たちが増えてくれば、さらによいと思った。

委員 いい形でできたと思う。若者がやりたいことを出す場、施設を横断的に話し合う場が必要ということ、情報発信のためのチラシの講座などが次やっていかなければならないことかと思う。あまり若者に期待するよりも、大人がやらなければならないこともあると思う。6月のあきしま会議をどうやるかというのは、若者版と施設や情報発信の具体的な話をする場という両方が必要かと思う。社会教育課だけではなく他の部署の方にも協力という形で、ほかの下でつながりのある団体にも広く声をかけていくことができると思うので実現したい。先ほど数値目標という話も出たが、社会教育委員みんなが口コミで広げていくことも必要だ

議長 印象的だったのは、これまで様々な活動団体の話を聞いてきて、ほかのグループの話が聞きたかったというような声も聞いていたが、今回途中で席替えの提案をしたわけだが、実際には参加者は誰も席を替わることなく、話を深めていたことだ。これはおそらく、今回テーマをあらかじめ設定していたことによって、盛り上がった結果であろう。我々で先にテーマを絞って募集するのもよいと思った。

(2) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (資料4)

※社会教育委員は、10時30分(10時に変更予定)にアキシマエンシス体育館へ集合し、打ち合わせ等行う

(3) 令和5年度都市社連協第二ブロック研修会について

※令和5年10月21日(土) アキシマエンシス校舎棟 202~204

会場は仮予約しているので、内容を今後検討していく

次回 4月27日(木) 午後7時より 市役所 203 会議室にて